

## 新入生オリエンテーション合宿感想文

先進理工学研究科先進理工学専攻1年 大城 萌香

オリエンテーリング合宿では1泊2日という短い時間でしたが、先輩と先生方の講義、懇親会、自分の研究発表など濃い時間を過ごすことができました。また、同期との親睦を深め、先生方とも普段よりも近い距離感でお話をする機会を頂くことができました。その中でも、印象に残っているのはリーディングの先輩3人の発表と、先生方の講義の2点です。

先輩方の発表を見ていく中で、「果たして後1年後、3年後に私はここまで理解できているのだろうか?」と感じると同時に、私達はこのレベルにならなくてはいけないのか、と壁の高さを痛感しました。先輩方の発表に共通していた「自分のこの場での役割は何なのか?」、「LD生に求められていることは何か?」という部分は、今後の発表や活動においても重要になってくると同時に自分の中での認識が甘いということを感じました。

また、先生方の講義では様々な含蓄あるお話を聞くことができました。先生方の過去の経験や失敗談、成功談など様々なお話がある中で、「謙虚」であることが大切だ、という部分が印象に残りました。研究室で博士に進学するということは、研究室内で年齢的にも立場的にも上になります。しかし、そこで驕るのではなく謙虚であること、相手に対する敬意を忘れないこと、を心に留める必要があると感じました。また、先生方は完璧なイメージしかなかったため、若い時の挫折や失敗談は意外だと感じました。

合宿を通じ、自分は何を求められているのか?将来どうして行きたいのか?という今まではあまり考えていなかった部分を改めて考えさせられました。また、先輩方の発表を見て、レベルの高さを感じると同時にとても刺激を受けました。先生方の講義では、失敗談や挫折、成功などを通じて得られた教訓など、勉強になりました。

今回の合宿の企画・準備をしてくださった事務局の皆様、講義をしてくださった先生方に感謝いたします。